



2003
年

CG. K-R

ショーモデル「RXエボルブ」をベースに予想した市販版。はたして観音開きドアにGOサインが出されるかどうか、早く結果が知りたいネ！

099) マツダの技術力が結集した
4ドア・ロータリースポーツ

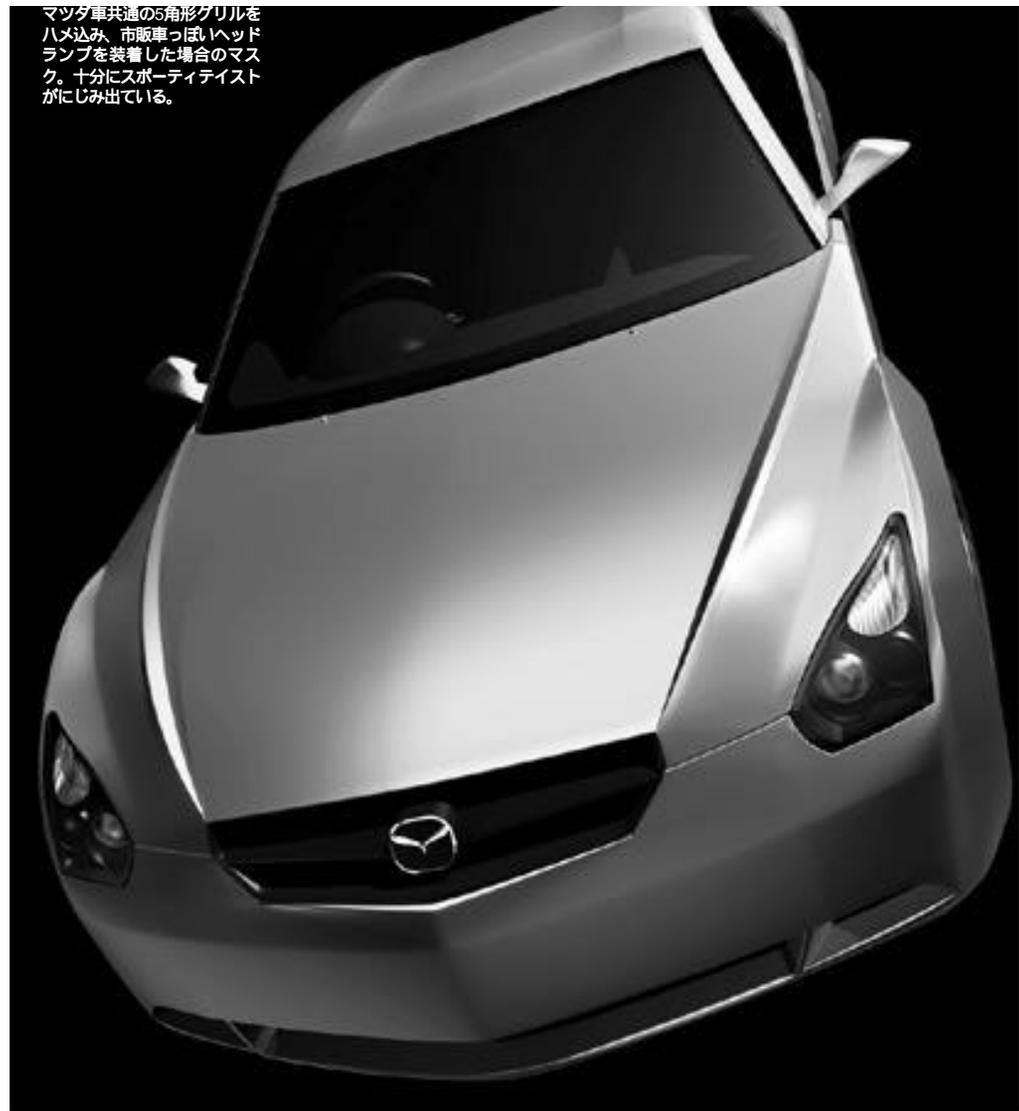
RXエボルブ

1

年前の東京モーターショーでRXエボルブがベールを脱ぎ、世界中を沸かせたのは記憶に新しい。スクープ班ではその後、RXエボルブが市販化に向けて動いていることを突き止めた。社内呼称は「J60E」で、03年春デビューをめざして開発が進められている。

ボディ形状は4ドアのままだが、観音開きドアが採用されるかどうかは未定だという。最大の難関は側面衝突時の安全問題で、これさえ解決されれば観音開きドアになる可能性もある。

ここで重大ニュースをひとつ。ナント、RXエボルブのリアイン版「RXエボルブ」が年明けの北米ショーに出品されることになった。こりゃ、北米に行かないやー！



マツダ車共通の5角形グリルをハム込み、市販車っぽいヘッドランプを装着した場合のマスク。十分にスポーティテイストがにじみ出ている。

100



日産V8ピックアップ

リバイバルプランにともなって発表されたのが、北米産フルサイズ・ピックアップの生産だ。03年から市販される大型ピックアップはダブルキャブを備え、新開発のV8エンジンを搭載するという。また、これをベースにしたクロカンも開発されるらしいが、北米専売車になるかも。生産拠点は新設されるミシシッピ州の工場になる可能性大。

21世紀モデル

SCOOP▶▶▶

100連発



海外で目撃された現行レジェンド・ベースの改造テストカー。両側出しのエキゾーストパイプや明らかに広がっている前後フェンダーに注目いただきたい。



101

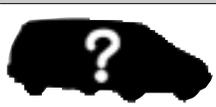
フラッグシップにふさわしい
FRレイアウト+V8の

Photo. APOLLO

V 6エンジンの完成度を高めるために、一時的に開発が凍結されているV8エンジンと次期レジェンド。しかし、海外からは現行レジェンドをベースにした先行開発車両のナマ写真が届き、なんとか開発が進行されていることもわかった。開発コードは「X」と定められていたが、最近になって「OO」に変更されたとの新情報も入手。
写真のテストカーでは明らかに前後フェンダーの幅が広がっており、トレッドがワイド化されていることも予想できる。また、両側から出ているエキゾーストパイプも見逃せないポイントだ。
現段階での予定デビュー時期は03年4月だが、さらにスレ込む、または急ぎよ前倒しされる可能性も大いにあるため、コイツからは一瞬たりとも目が放せないぞ。

レジェンド

102



ホンダ・グランドワゴン

03年後半～04年の間にデビューするグランドワゴンは、レガシィ・ランカスターを意識した4WDツーリングワゴンになるようだ。搭載エンジンは直4とV6の2種類だが、いまのところ、開発が全面的にストップしている。ホンダならではの独自性が盛り込まれ、単なる後追い商品にはならないはず。

103



ファミリア

「J48E」と呼ばれる次期ファミリアは03年の上半期にデビューを果たす。フォード・フォーカスとプラットフォームを共有し、低コストでの開発が進められている。詳細は未定だが、日欧の両方に通用する質の高いコンパクトカーに仕上がるだろう。なお、同MCモデル「J48L」は05年の上半期に登場する。

104



デミオ+(プラス)

次期デミオが登場した約1年後にデビューするのがデミオ・プラス(仮称)だ。1.5エンジン+CVTを搭載し、前後オーバーハングが拡大された国内専用車として、月販4000台が目標とされる。デミオの魅力でもある「質実剛健」なイメージをそのままに、より高い使い勝手を備えて登場するだろう。MCは05年。

105



ファミリア+(プラス)

デミオ・プラス同様、次期ファミリアにも派生車が存在する。こちらは本家ファミリアのFMCから約半年後、03年下半期に発売される予定だ。開発コードは「J48J」で、国内専売車となる可能性が高い(開発コード最後のJはJapanのJか?)。MCはファミリアと同じ05年上半期に実施される模様。

106



ブレマシー MC

ライバル車よりもコンパクトなボディサイズを売りに登場したブレマシー。その2代目が登場するのは04年の上半期(初夏が有力)だ。「J36G」なる社内呼称を掲げて開発がスタートしたようだが、まだ具体的なことは何も決まっていない。これからコンセプト作りが始まる。